

eBASE株式会社

2009年3月期決算と ビジネス展開計画

当資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

平成21年6月22日

会社概要

- 会社名： eBASE株式会社 （証券コード：3835）
- 代表取締役： 常包浩司 （つねかね こうじ）
- 設 立： 2001年10月
- 資本金： 18,916万円
- 本社所在地：
〒531-0072 大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル （2F）
TEL：06-6486-3955 （代表） FAX：06-6486-3956
- 理 念：
貢献なくして利益なし、利益なくして継続なし、継続なくして貢献なし
社会から求められ、賛同を得られるサービスでないと利益を得ることはできない。
利益を上げないと、そのサービスを継続し成長させていくことはできない。
結果的に、継続した成長を提供できるサービスでないと社会貢献ができない。
- 事業内容：
コンテンツマネジメントソフト「eBASE」の企画開発・販売・保守
- 社員数： 52名（59名/役職員含む）

（2009年3月現在）

2009年3月期連結決算概要

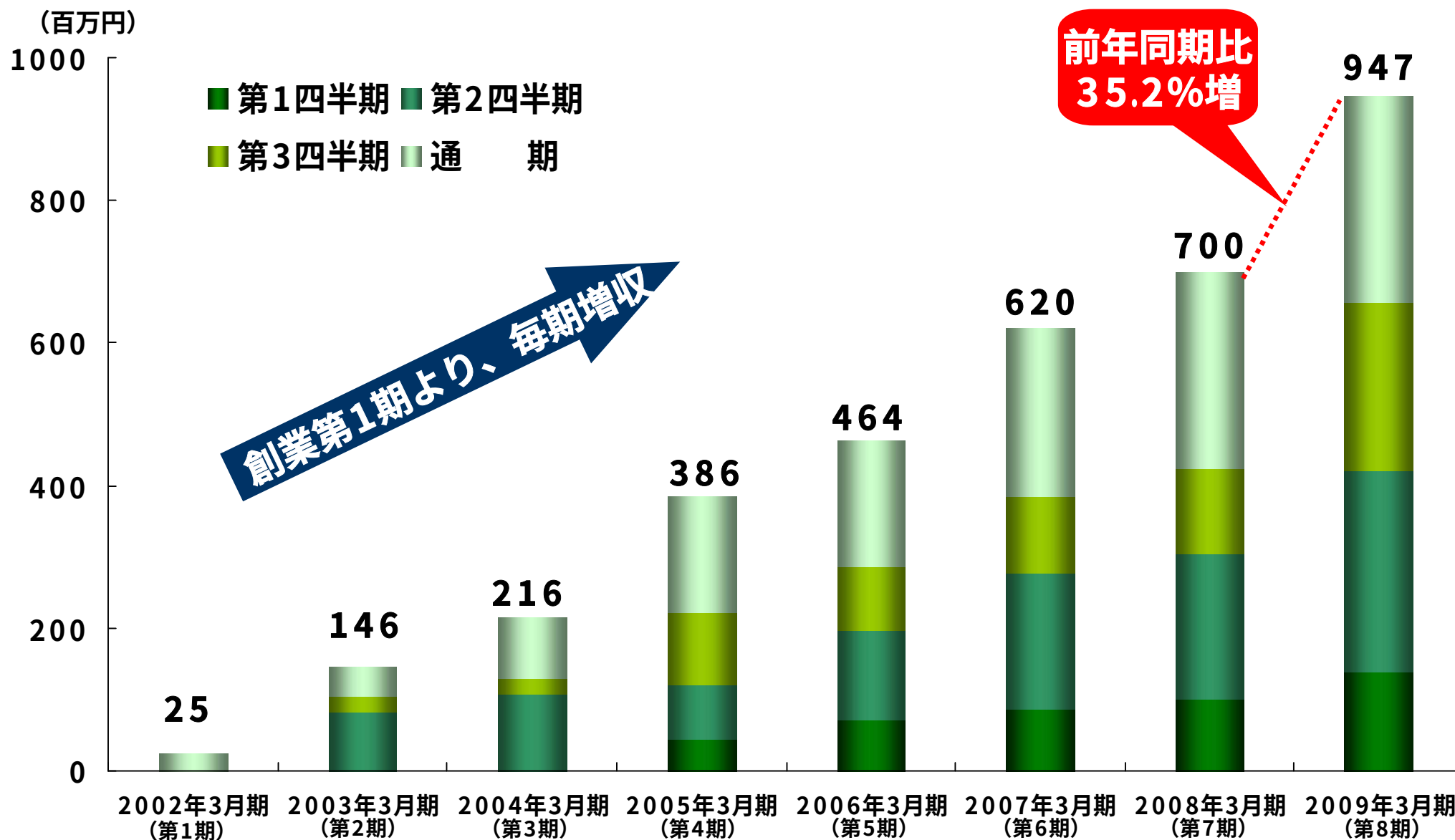
(2008年4月～2009年3月)

特需による大口案件により、
売上高、利益とも大幅な増収・増益

eBASE 2009年3月期決算

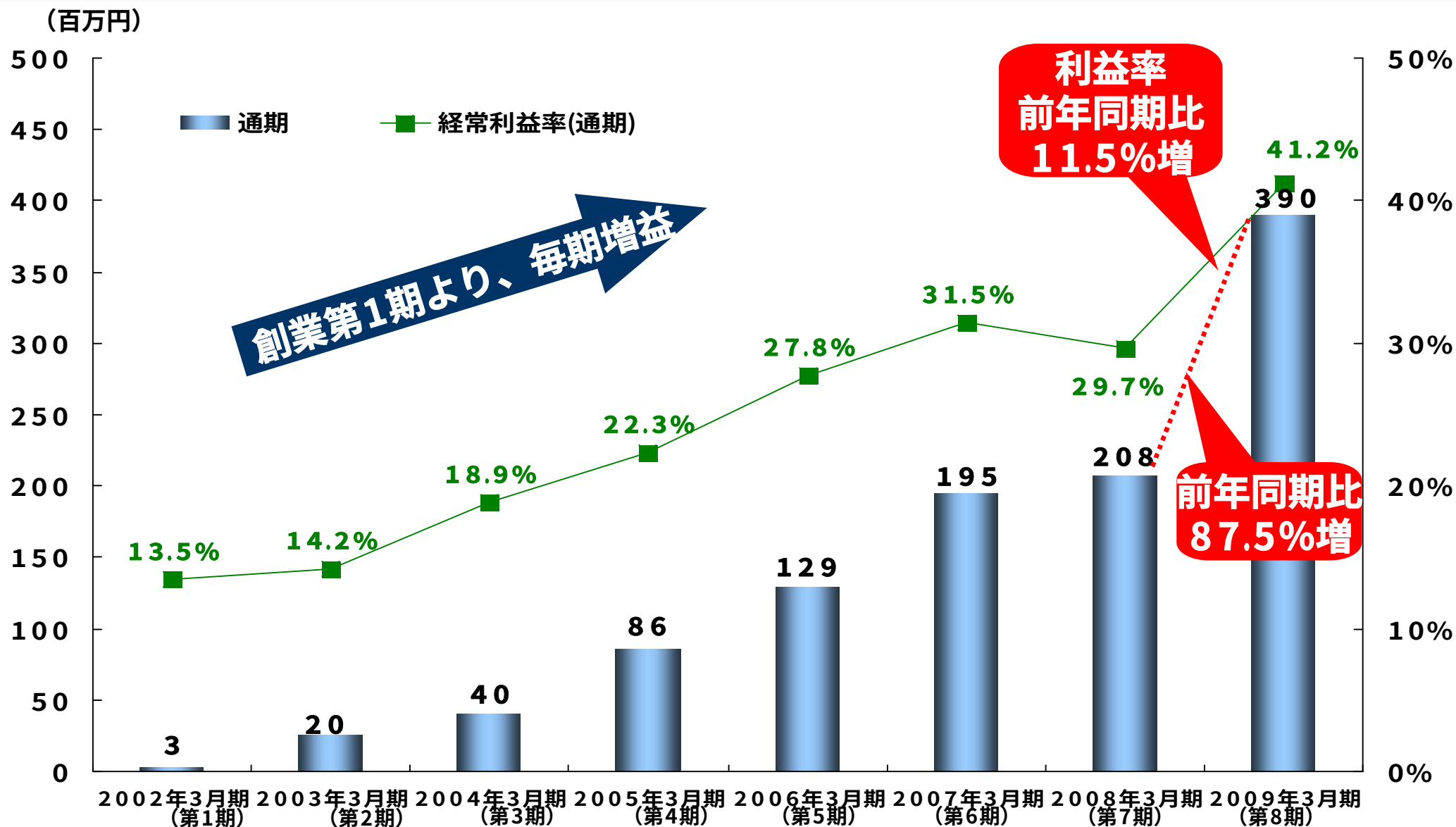
- 連結売上高の推移
- 連結経常利益の推移
- 連結業績推移
- 連結貸借対照表
- 種類別販売実績
- 業界別売上実績
- パートナー別販売実績
- 2010年3月期の連結業績予想

連結売上高の推移



(注) 1.2002年3月期(第1期)の財務諸表は、当社設立が2001年10月1日であるため、2001年10月1日から2002年3月31日までの6ヶ月間の金額となっています。
2.2006年3月期(第5期)より連結財務諸表を作成しているため、それ以前は個別財務諸表の金額となっています。

連結経常利益の推移



(注) 1.2002年3月期(第1期)の財務諸表は、当社設立が2001年10月1日であるため、2001年10月1日から2002年3月31日までの6ヶ月間の金額となっています。
2.2006年3月期(第5期)より連結財務諸表を作成しているため、2005年3月期(第4期)以前は個別財務諸表の金額となっています。

連結業績推移

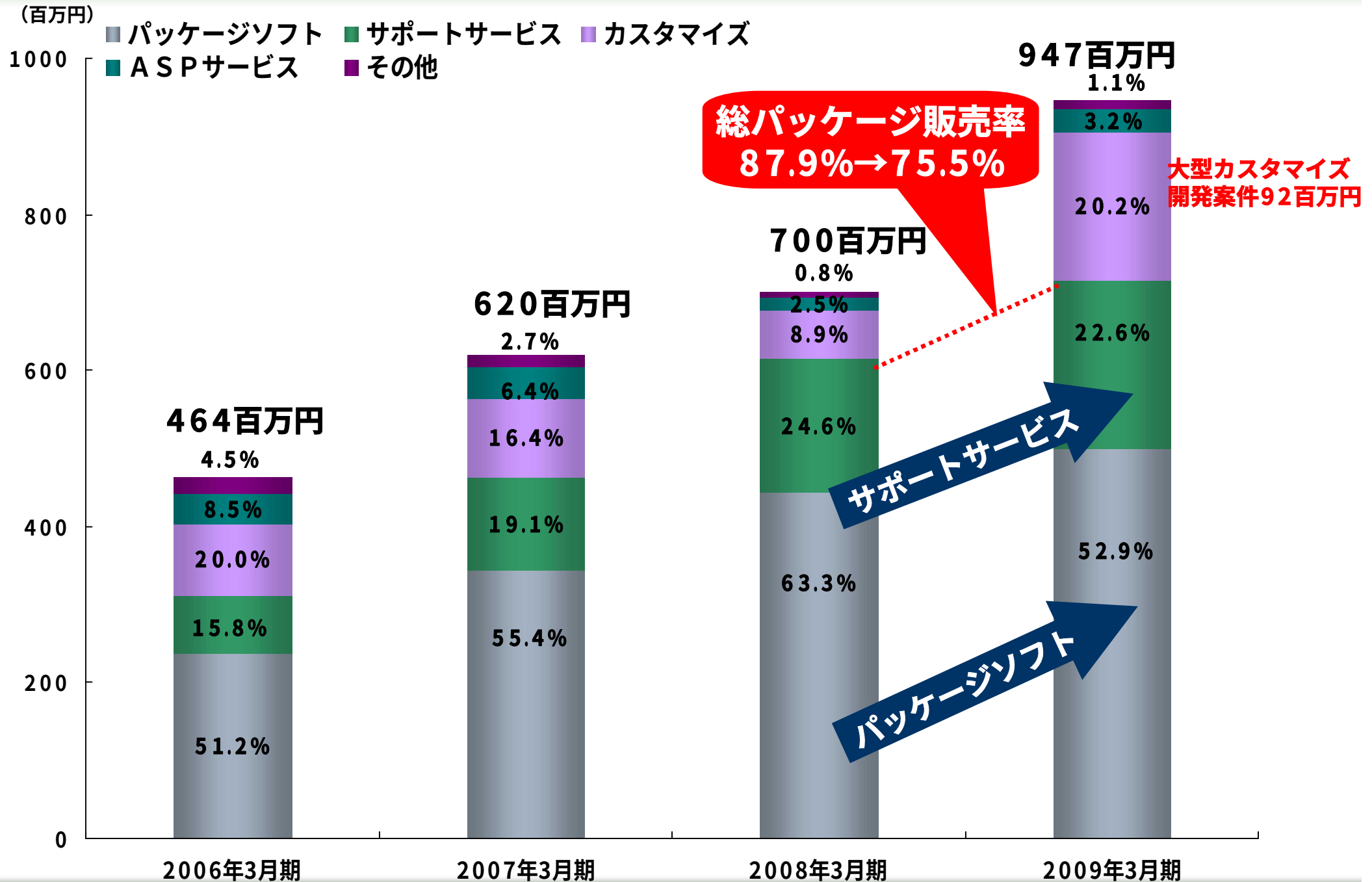
(単位：百万円)

	2005年3月期 (第4期)	2006年3月期 (第5期)	2007年3月期 (第6期)	2008年3月期 (第7期)	2009年3月期 (第8期)
売上高	386	464	620	700	947
営業利益	86	129	209	206	387
経常利益	86	129	195	208	390
当期純利益	56	83	113	118	219

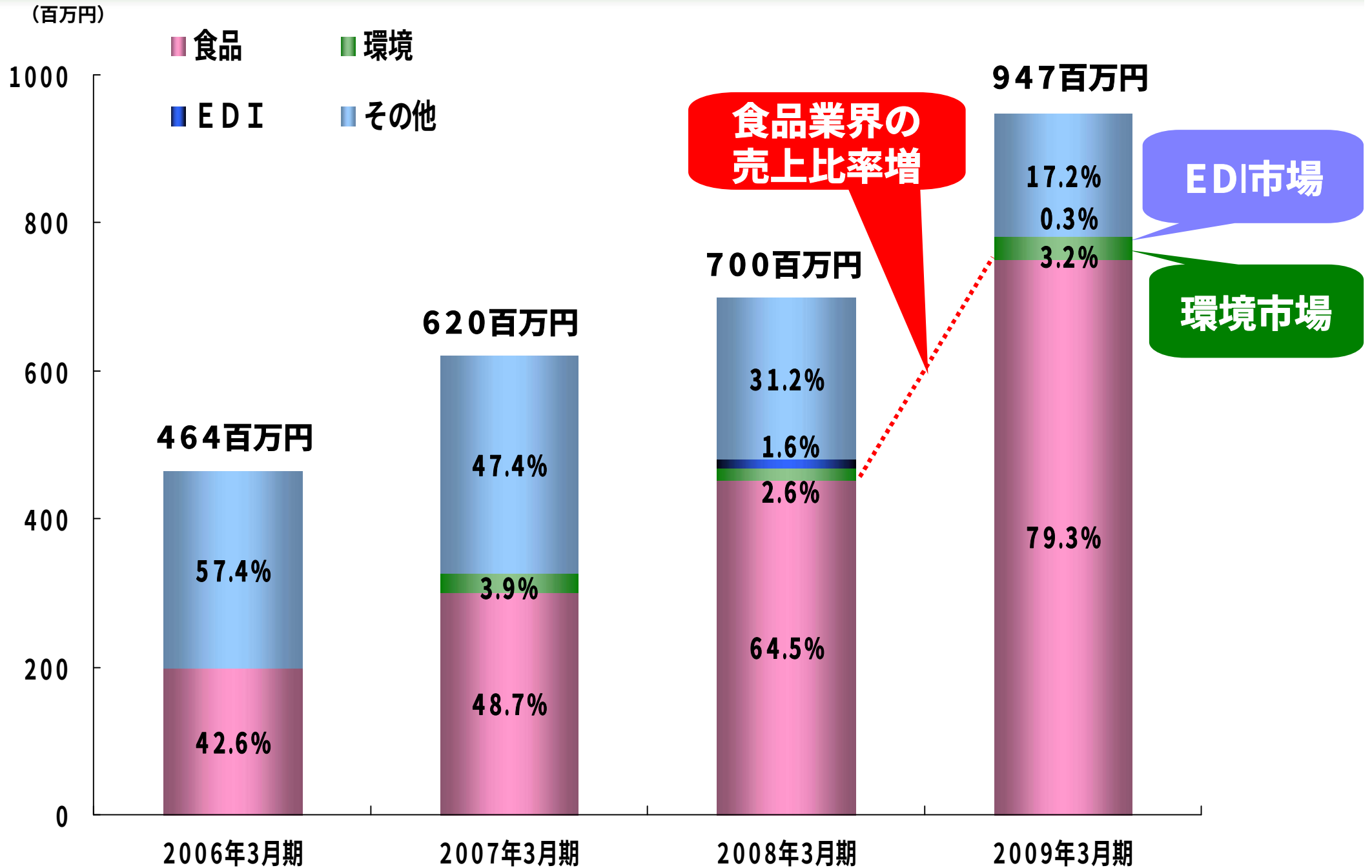
連結貸借対照表

	前期 (2008年3月末)	当期 (2009年3月末)	前期比	(単位：百万円)
流動資産	564	953	389	現金及び預金の358百万増加 受取手形及び売掛金24百万円増加
固定資産	240	142	△98	
(有形＋無形資産)	(13)	(16)	(3)	
(その他)	(227)	(126)	(△101)	長期預金が100百万減少
資産合計	804	1,095	291	
流動負債	69	185	116	利益増による未払法人税等が84百万増加 売上増による未払消費税等が7百万増加 買掛金20百万円増加
負債合計	69	185	116	
株主資本合計	734	908	174	当期純利益219百万増加 新株の発行15百万円増加 剰余金の配当による24百万減少 自己株式の取得による36百万減少
少数株主持分	1	2	1	
純資産合計	735	910	175	
負債・純資産合計	804	1,095	291	

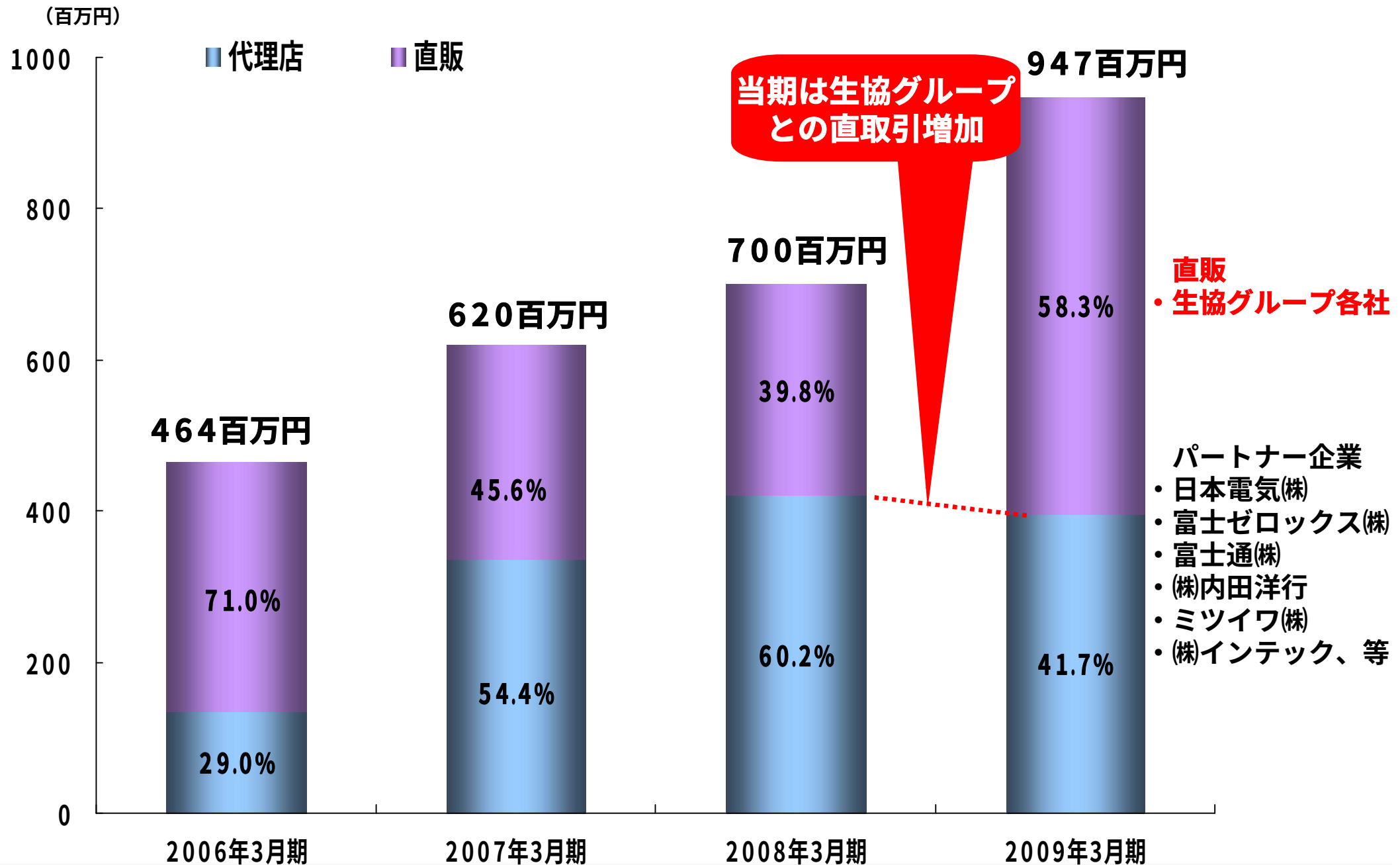
種類別販売実績



業界別売上実績

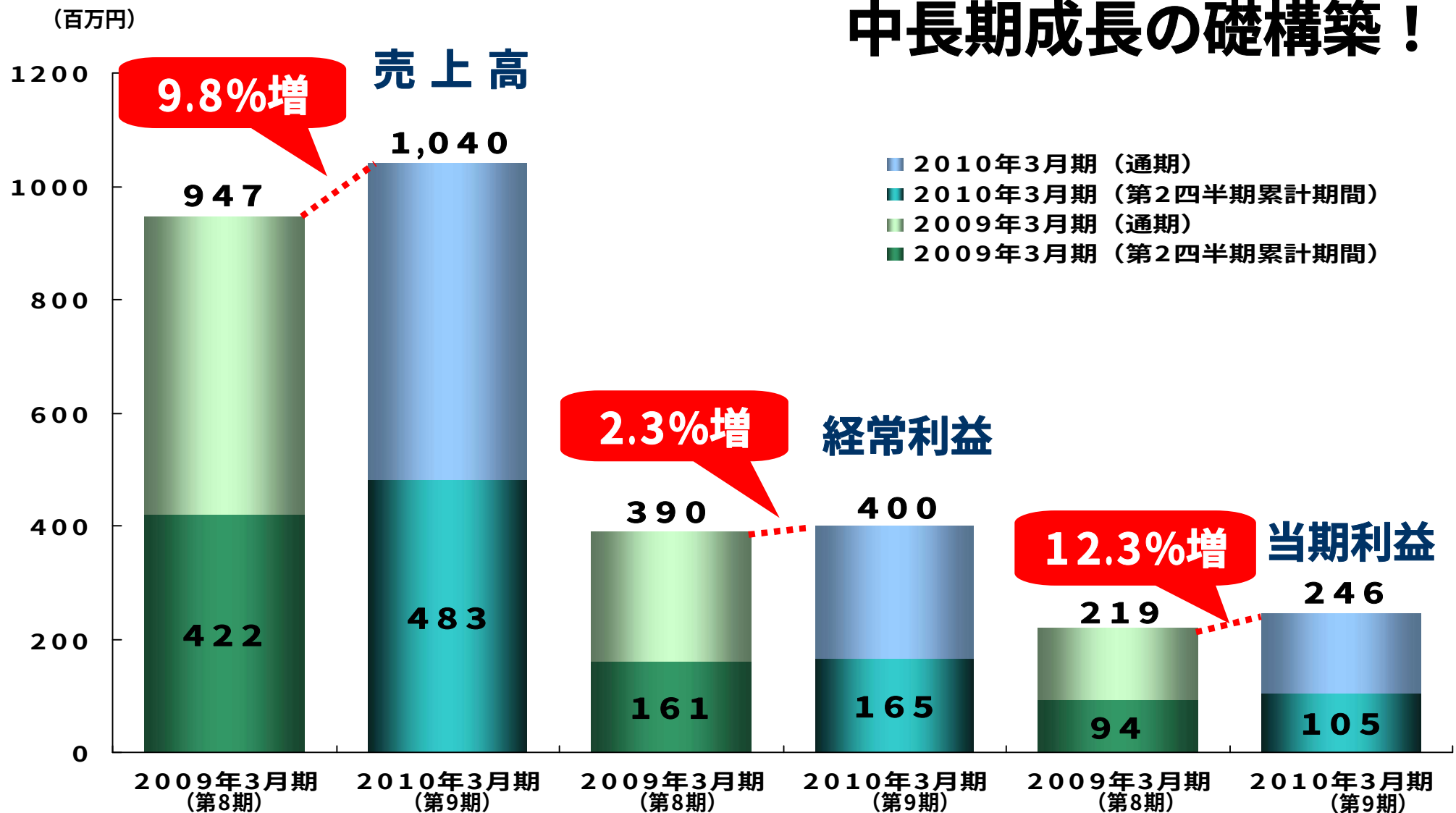


パートナー別販売実績



2010年3月期の連結業績予想

今年度のような特需による大口案件が未確定であるが、
食品市場で短期成長維持、新市場開拓継続で
中長期成長の礎構築！



eBASEビジネス展開計画

～商品情報交換の全体最適化～

■e B A S E の 基 本 機 能

■e B A S E の 特 徴 と ポ ジ シ ョ ニ ン グ

■タ ー ゲ ッ ト 市 場 の 課 題

■e B A S E に よ る 課 題 解 決

■e B A S E 全 体 最 適 化 ビ ジ ネ ス モ デ ル

■同 ビ ジ ネ ス モ デ ル の 展 開

eBASEとは

様々な商品情報を管理・運用できるパッケージソフトウェアで、
食品業界、住宅業界、文具業界、等で広く使われています。

マルチメディアコンテンツ管理機能と
データ構造フレキシビリティが高いのが特徴！

複数の素材データ

品番

複数の商品スペックデータ構造
例)
・基本スペック
・原材料情報
・製造工程情報
・物流情報
・・・・etc

商品画像（印刷用、棚割用、web用、等）
PDF、Excel、動画、CAD、eBASE、etc



カタログ、チラシ



提案書



webカタログ



XML構造

eBASEの特徴とポジショニング

リッチ商品マスターを様々な他システムと連携運用！



商品情報交換の現状

サプライヤ/バイヤ間の商品情報交換は、非効率的！

サプライヤー企業

バイヤー企業

バイヤ毎に、異なるフォーム、異なる手段で、情報提供！

アナログ的情報収集



提供負荷大

A社フォーム

品名	数量	単位	価格	備考
りんご	100	kg	150	
バナナ	50	kg	80	
オレンジ	200	kg	120	
梨	80	kg	180	
葡萄	120	kg	200	
イチゴ	30	kg	250	
桃	60	kg	160	
柿	40	kg	140	
柚子	20	kg	100	
梅干	10	kg	90	

FAX送信



B社フォーム

品名	数量	単位	価格	備考
りんご	100	kg	150	
バナナ	50	kg	80	
オレンジ	200	kg	120	
梨	80	kg	180	
葡萄	120	kg	200	
イチゴ	30	kg	250	
桃	60	kg	160	
柿	40	kg	140	
柚子	20	kg	100	
梅干	10	kg	90	

Eメール



C社フォーム

品名	数量	単位	価格	備考
りんご	100	kg	150	
バナナ	50	kg	80	
オレンジ	200	kg	120	
梨	80	kg	180	
葡萄	120	kg	200	
イチゴ	30	kg	250	
桃	60	kg	160	
柿	40	kg	140	
柚子	20	kg	100	
梅干	10	kg	90	

WEB入力



A社

B社

C社

収集課題
・間違い多数
・遅い
・探せない
・再利用困難

eBASEによる商品情報交換

サプライヤ/バイヤ間の商品情報交換の効率化！

サプライヤー企業

バイヤー企業

商品情報提供の標準化

商品情報をデジタルで収集！



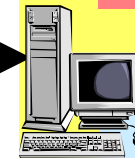
アナログ的情報収集にも対応



A社/eBASE

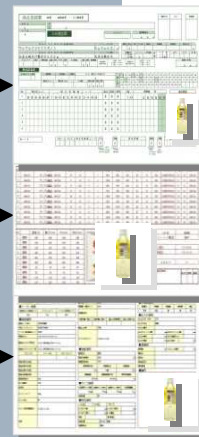


B社/eBASE



C社/eBASE

高精度な情報が、
タイムリーに、
低コストで収集！
その利用も容易！



D社

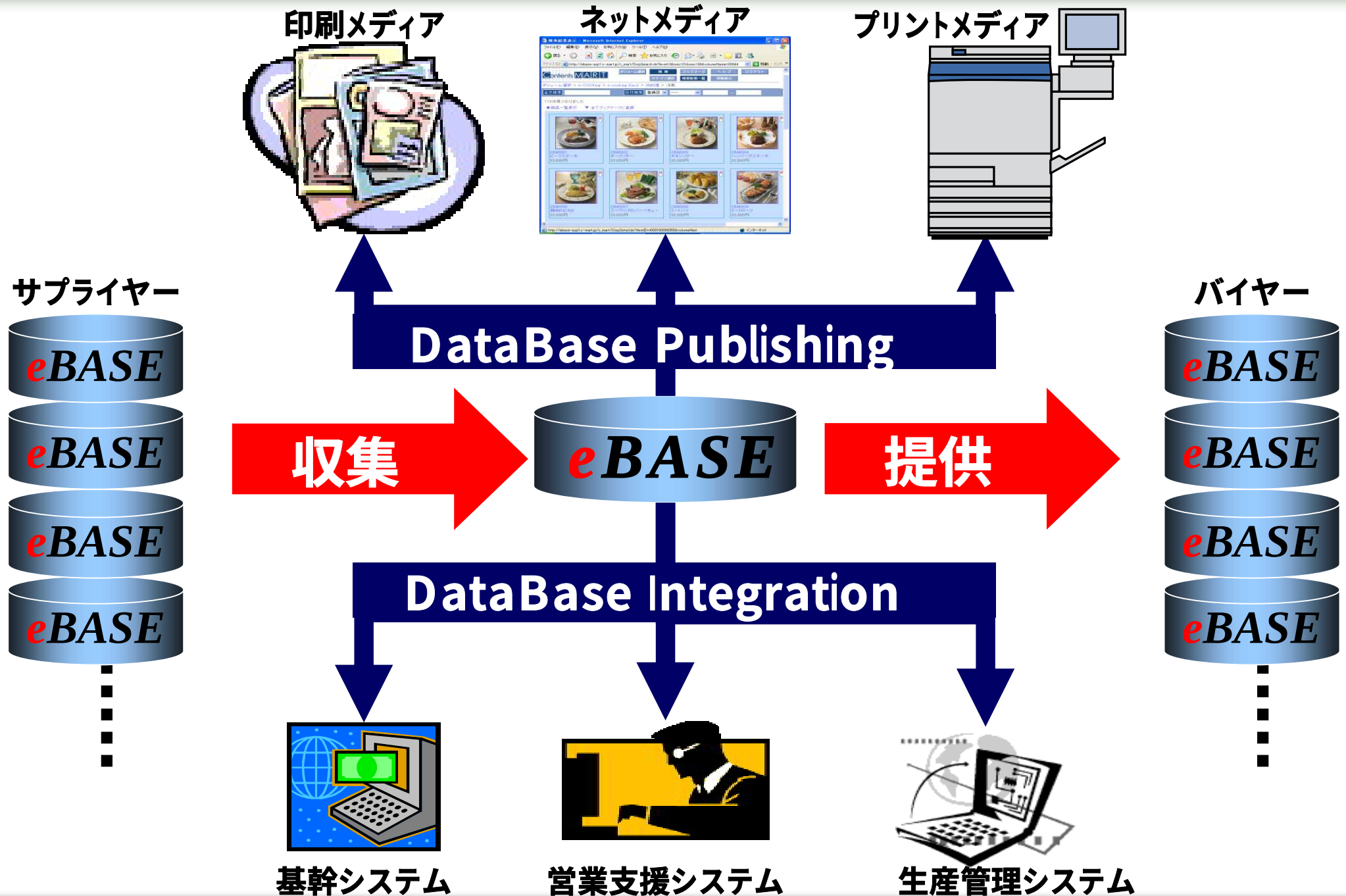
E社

F社

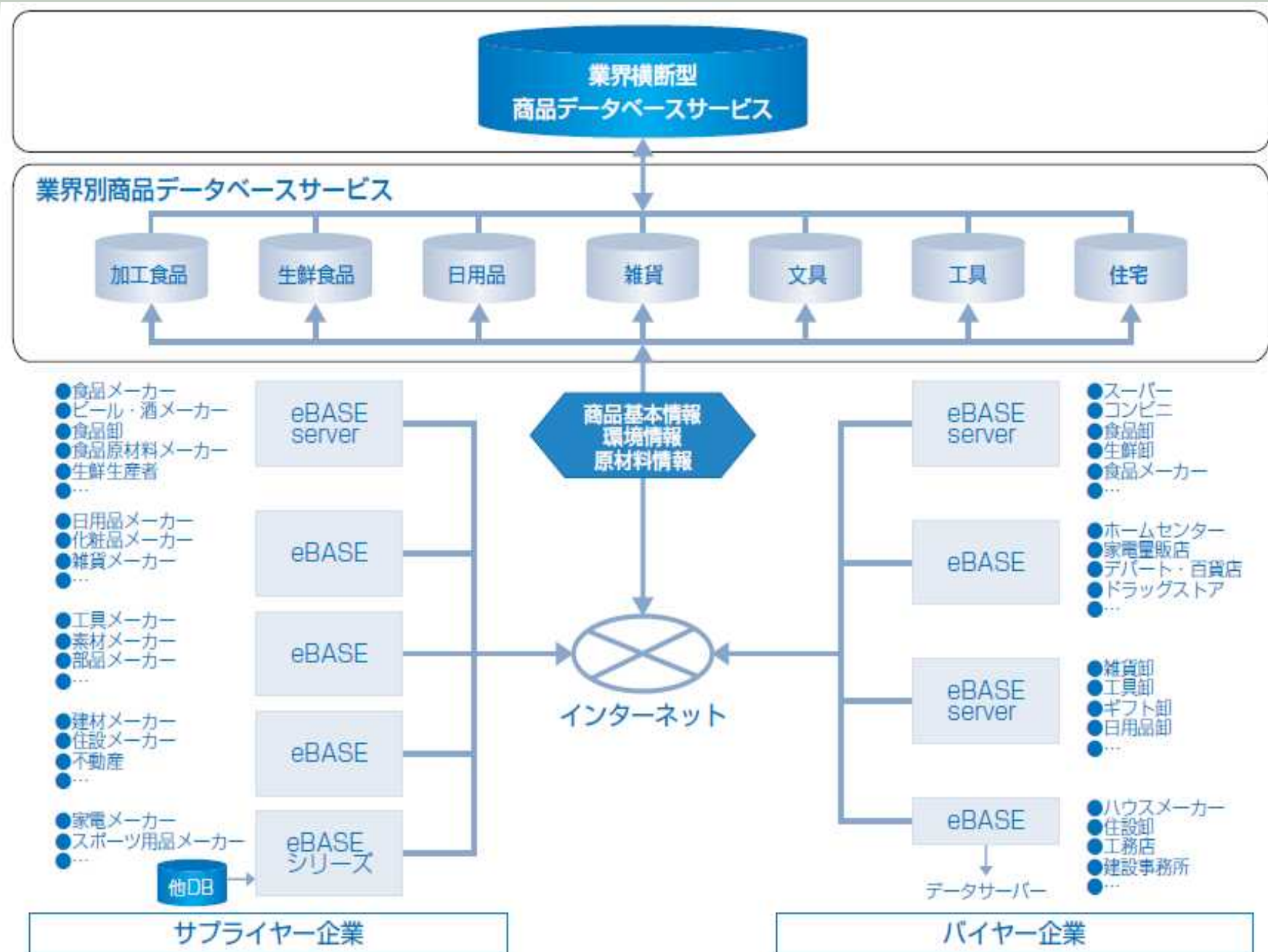
収集課題
未解決

競争力の差

*e*BASEの目指す商品情報管理の全体最適化



eBASEによる商品情報交換概念図

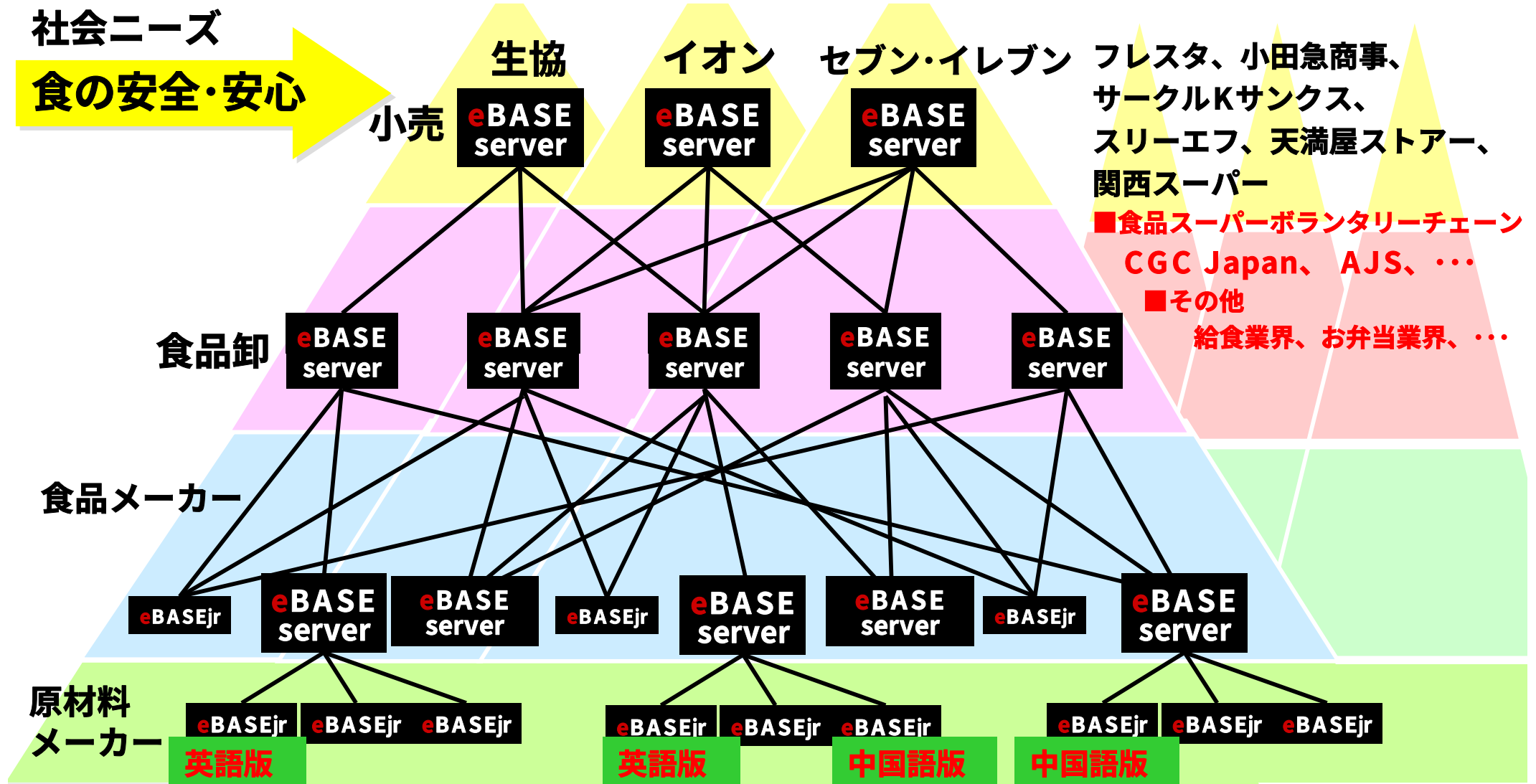


商品情報交換の全体最適化ビジネスモデル

- ①バイヤー1社から、多数のサプライヤーに普及！
- ②サプライヤーへの普及で、バイヤーにも普及促進！
- ③全体最適化で、収益アップ！

社会ニーズ

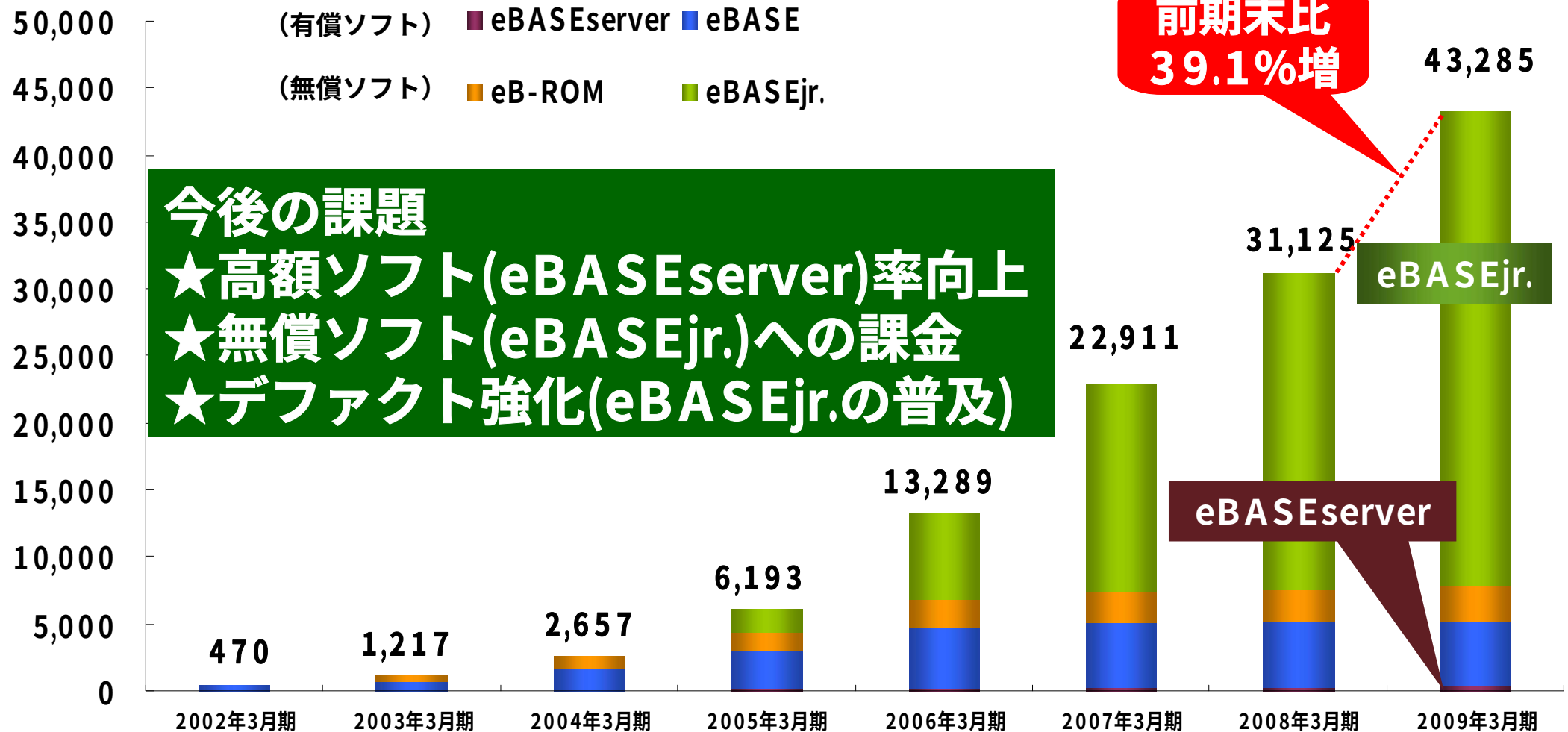
食の安全・安心



製品ユーザー数の推移

商品情報交換の標準プラットフォームとして着実に普及。

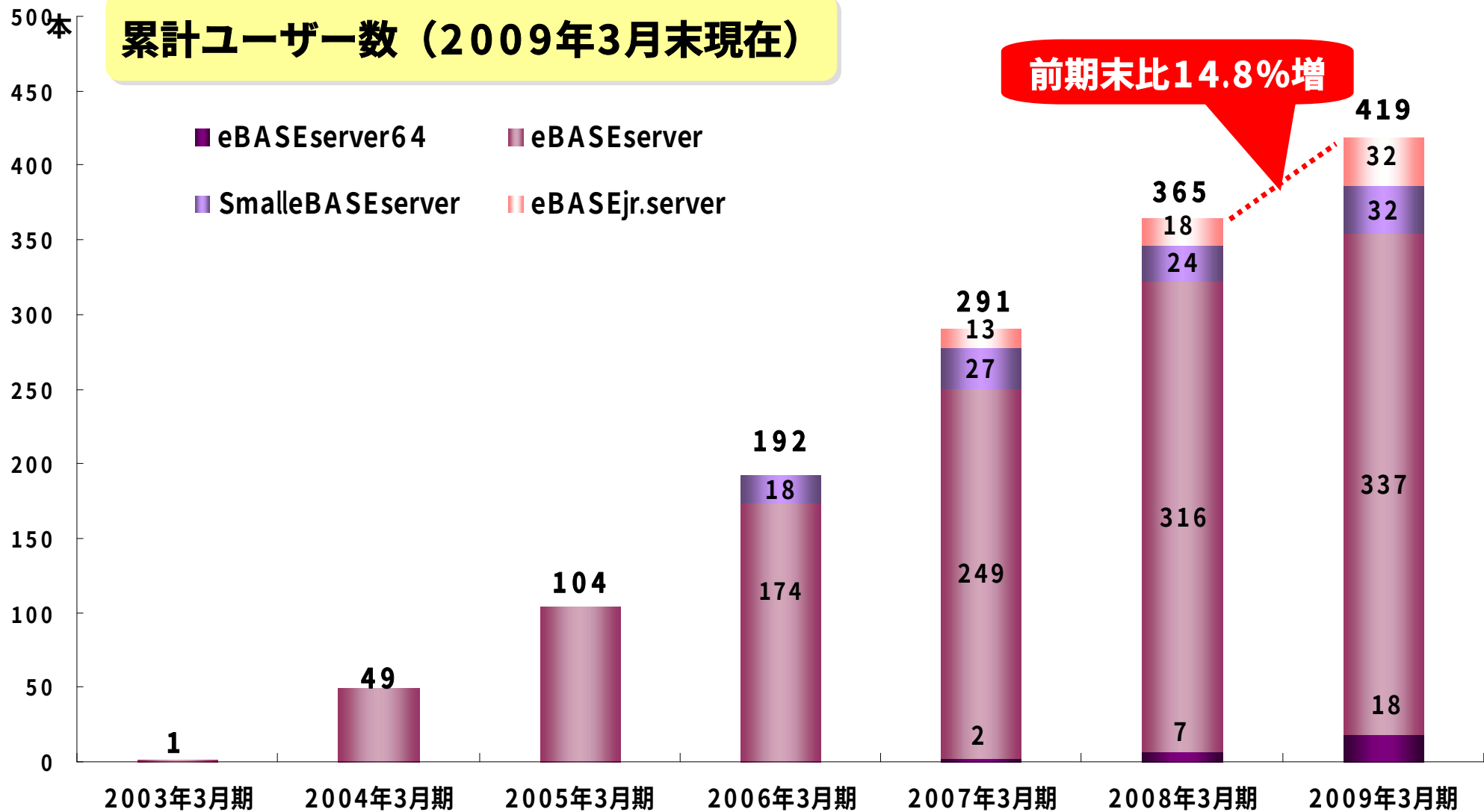
総ユーザー数（2009年3月末現在）



（注） 2002年3月期（第1期）については、当社設立が2001年10月1日であるため、2001年10月1日から2002年3月31日までの6ヶ月間のユーザー数となっています。

eBASEserverユーザーの推移

無償ソフトeBASEjr.ユーザーによる
最上位eBASEserverへの自発的グレードアップを促進！



(注) eBASEserverのリリースは、2003年3月期（第2期）であります。

高額ソフト(*eBASE*server)への自発的アップグレード

高額ソフトへの段階的誘導

フォールトトレラント
パワーアップ対応

eBASEenterprise
MultiMachine構成

eBASEserver
multiCPU版

eBASEserver
64bit版

eBASEserver

有償版
標準ソフト

Small eBASEserver

eBASEjr.server

eBASEstandard

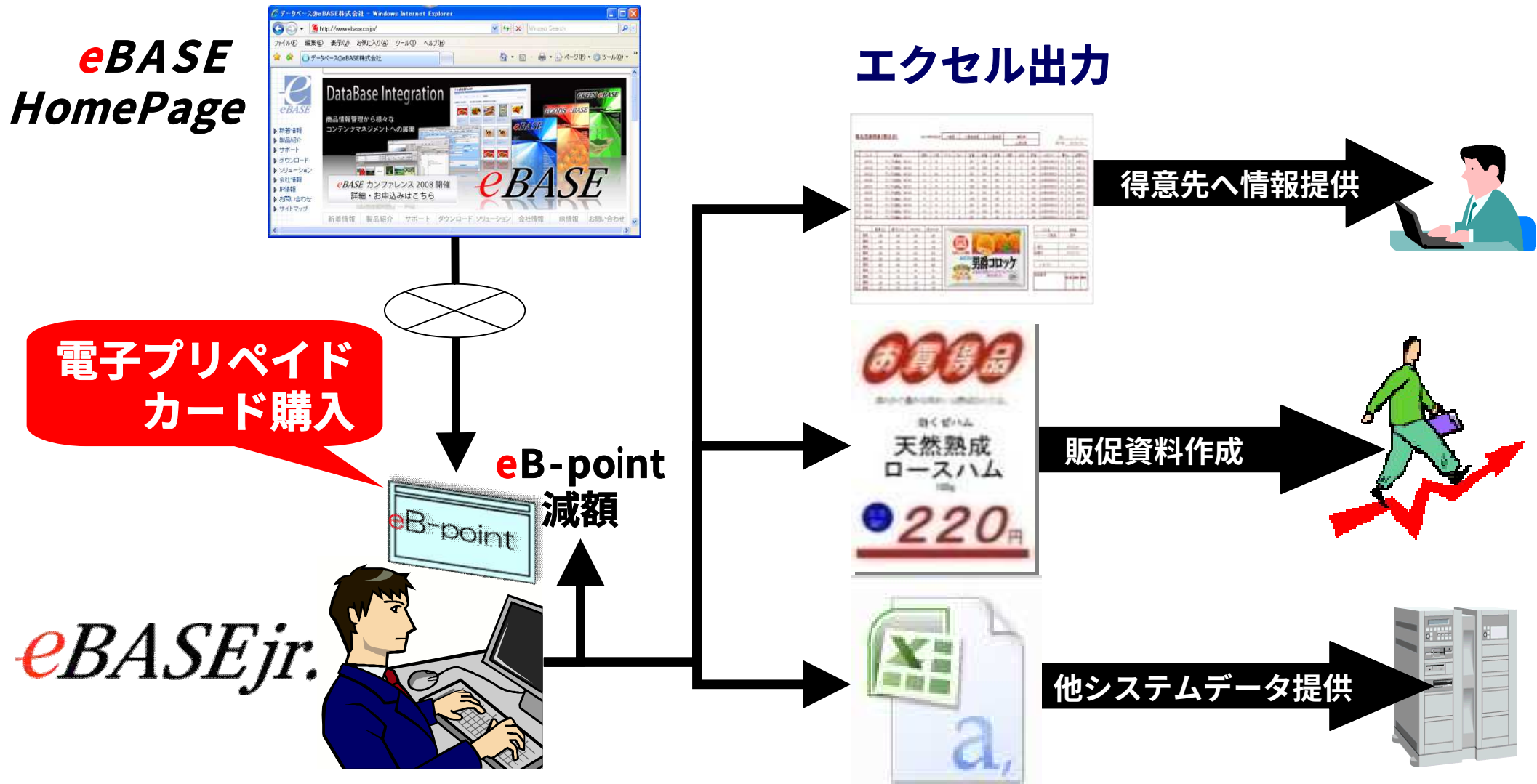
社会貢献型・限定機能
低価格ソフトのリリース

社会貢献型
無償ソフト

eBASEjr.

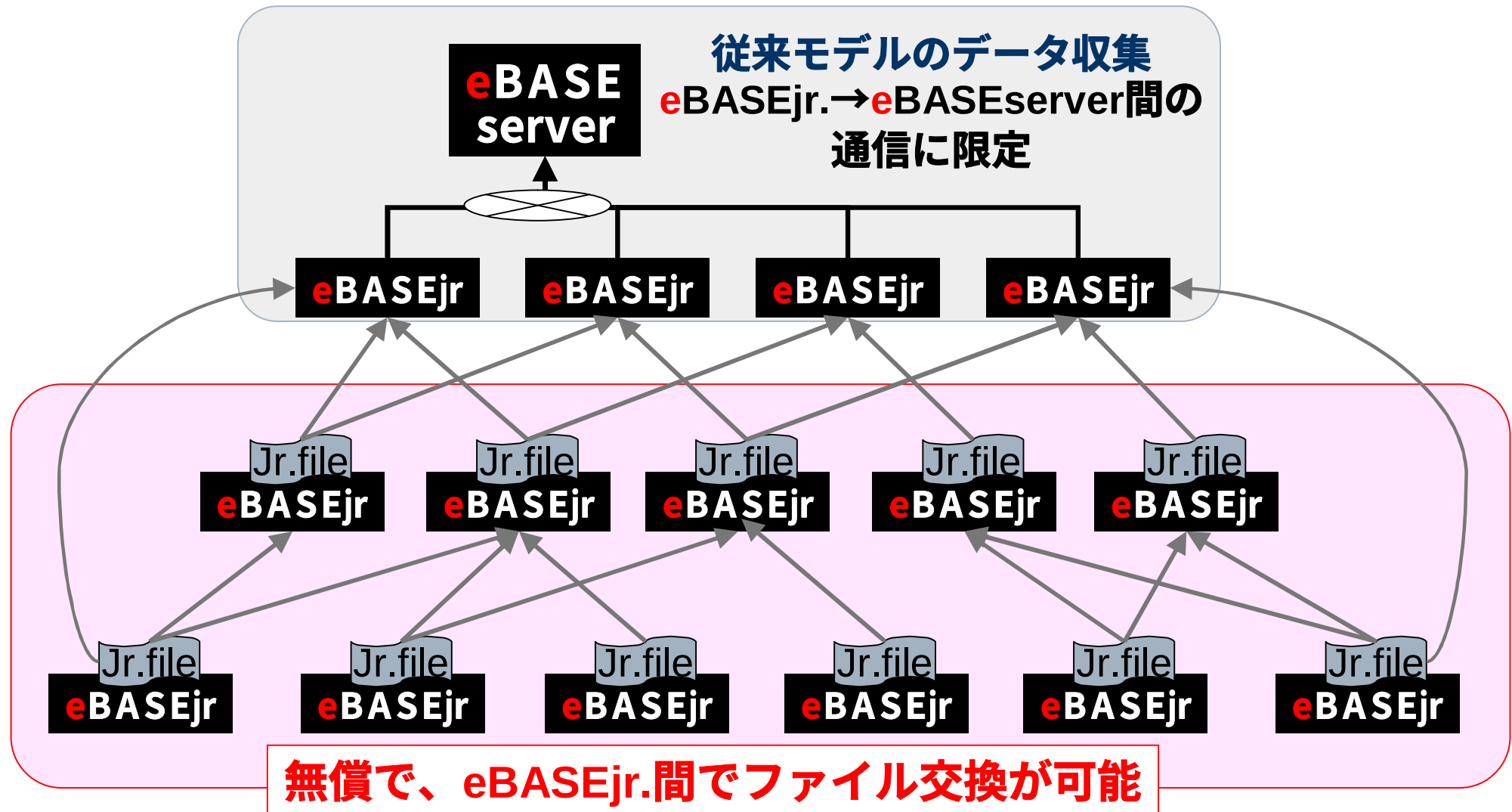
無償ソフト(*eBASEjr.*)へのリーズナブルな課金策

出力機能に制限がある*eBASEjr.*に 電子プリペイドカード式のデータ出力機能提供



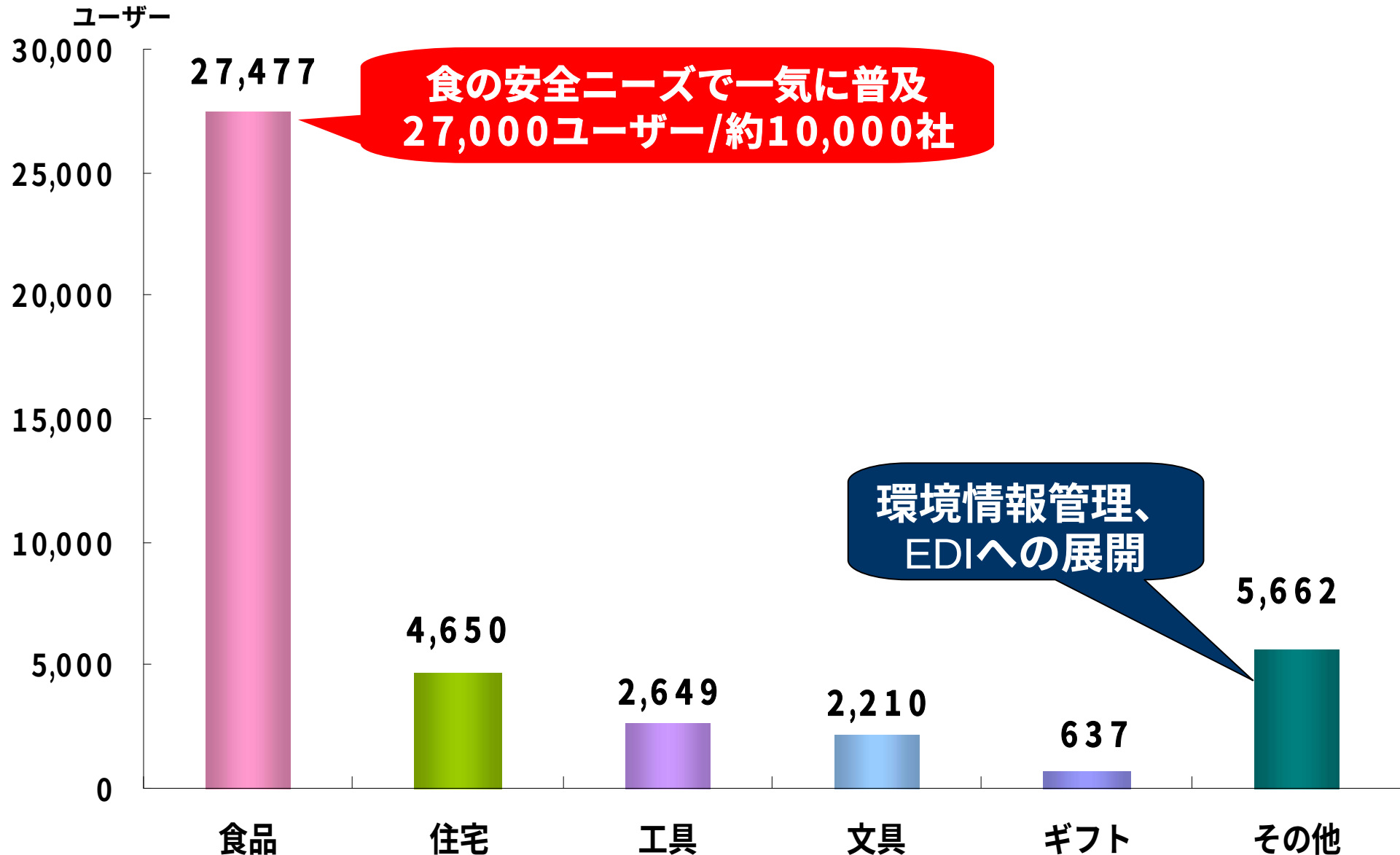
デファクト強化(*eBASEjr*の普及)→全体最適化推進

無償で、 *eBASEjr*.間の商品情報交換機能の提供



業界別ユーザー数（2009年3月末現在）

幅広い業界で商品情報交換の標準プラットフォームとして普及。



消費者への商品情報開示ソリューション

サプライチェーンからのデータ収集・管理

消費者への商品情報の積極的開示

※新案：「表示ラベル」
登録第3143354号

FOODS eBASE



基本情報
原材料リスト
包材表示
製造・品質
添付書類

確認・承認
仕様書管理
仕様変更・確認
製品の画像データ

- ・原材料
- ・原産国
- ・アレルギー表示

eB-FWC

商品情報Web開示
サーバーシステム

新製品
2008.6
リリース

リッチ商品情報集ニーズの牽引/拡大



店舗 プライスカード/POP



店舗 電子POP



日生協様/コープこうべ様で
2008年6月/8月から開示スタート

インターネット Web開示

消費者ニーズ 安全 安心の商品情報

原材料
メーカー

食品
メーカー

食品
卸

小売

eBASEサプライチェーン

リッチ商品マスター

BioProfile.net/レシピあ〜ん (Webサービス)

BioProfile.net

個人を特定できない、個人(生体)情報を記録・管理できる一般消費者向けの、無償サービスサイトです。



※PAT.2006-313528

レシピあ〜ん



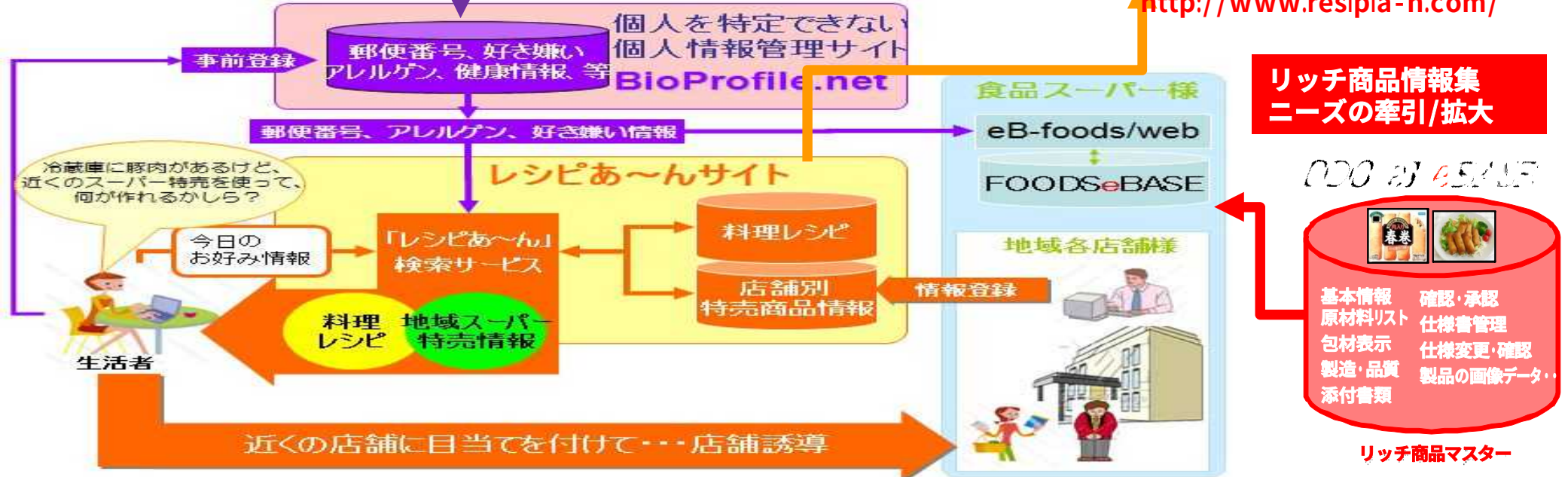
アレルギー体質な方、食事制限が必要な方、冷蔵庫に残った食材を使いたい、スーパーの特売品を利用したい、好きな食材を使った料理が食べたい方に、ぴったりなレシピ検索を簡単に検索できるサービスです。

ID問い合わせ

生体・嗜好情報

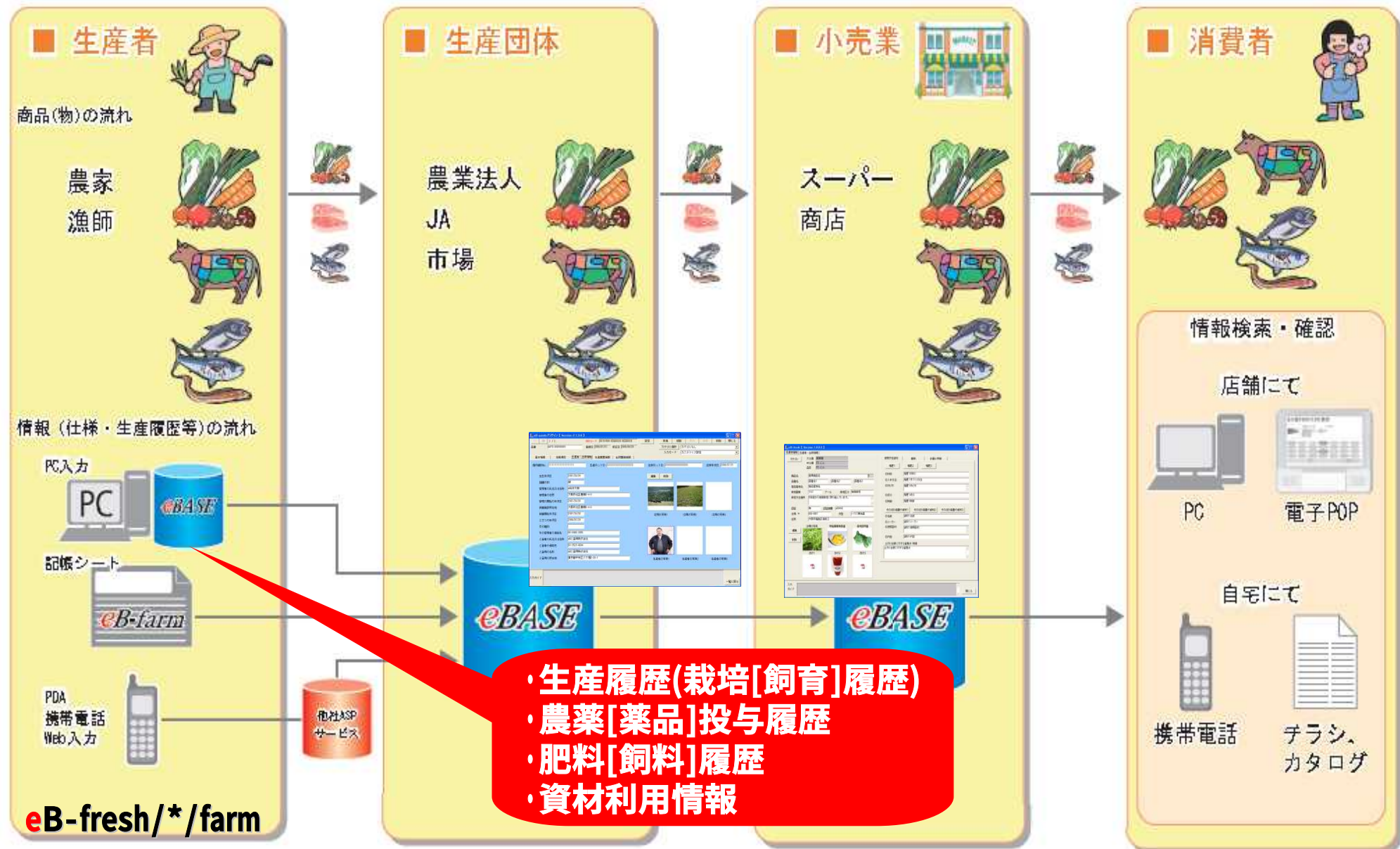
<http://www.bioprofile.net/>

<http://www.resipia-n.com/>



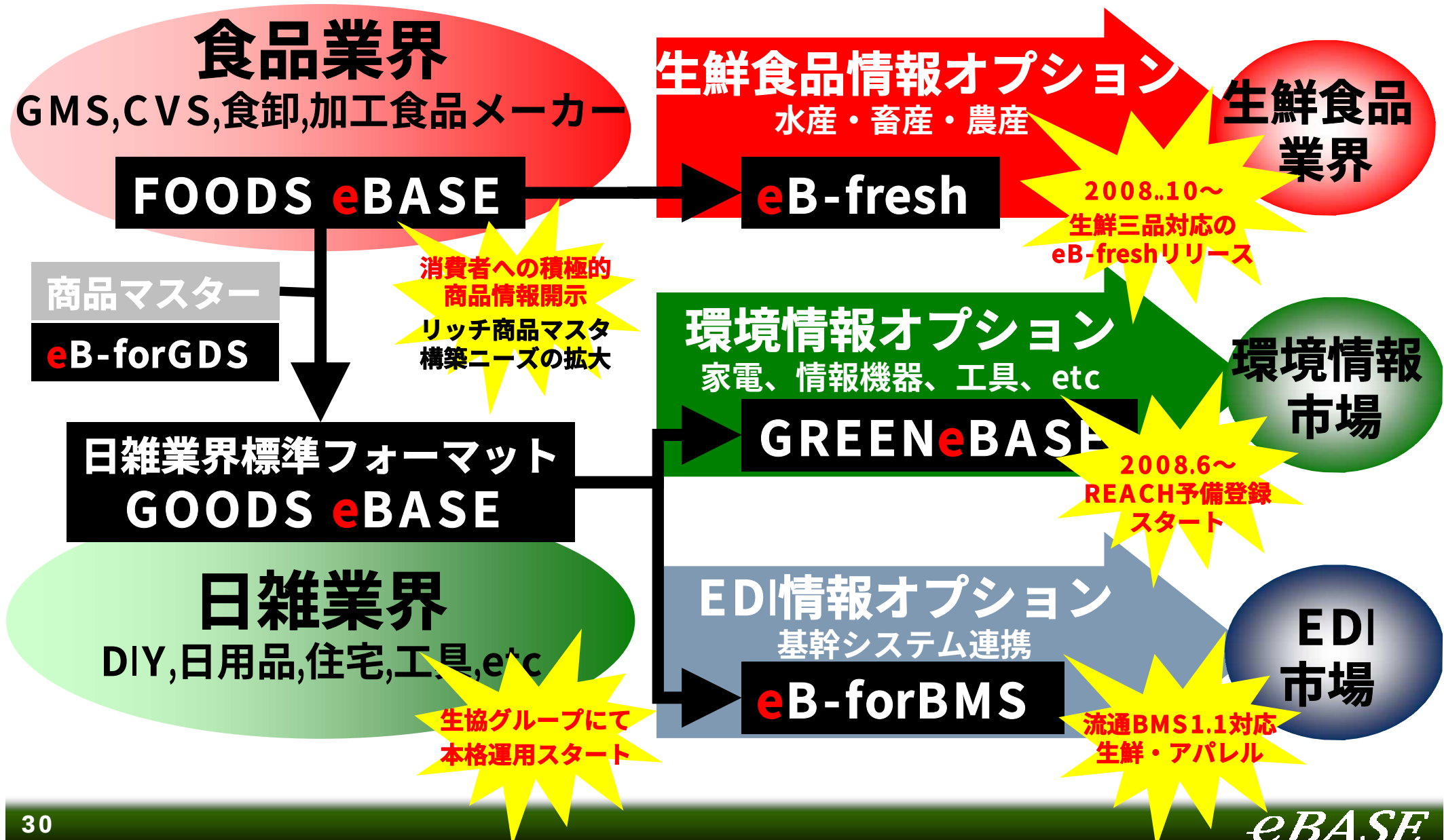
生鮮三品における生産履歴情報ソリューション

eB-fresh/seica(青果)、meat(精肉)、fish(養殖魚)



eBASE全体最適化ビジネスモデルの展開

業界別、商品情報交換ツールとフォーマットの開発と標準化推進！



eBASEビジネス全体最適化の水平展開

生鮮食品へ展開 | 食の安全情報収集インフラを | 日雑商品へ展開

eB-fresh

・イオン、セブン・イレブン・

生協

CGC

工具業界

文具業界

生鮮用
eBASE
server

日雑用
eBASE
server

eBASE
server

eBASE
server

生鮮卸

日雑卸

eBASE
server

eBASE
server

eBASE
server

eBASE
server

eBASE
server

eBASE
server

eBASEjr

eBASE
server

eBASE
server

eBASEjr

eBASEjr

eBASE
server

eBASEjr

eBASE
server

eBASEjr

eBAS

生鮮生産者団体

日雑メーカー

具メーカー

GOODS *eBASE* 今期より小売数社で本格運用がスタート！

eBASEビジネス全体最適化の環境市場展開

小売業へ展開

環境情報収集インフラを

他メーカーへ展開

社会ニーズ
環境ニーズ

家電、情報機器メーカー

他社展開

GREEN
eBASE
server

REACH規制

予備登録開始：2008年6月～

業界団体フォーマット(AIS/MSDSplus対応)

1次仕入先

eBASE
server

eBASE
server

eBASE
server

eBASE
server

2次仕入先

業界団体フォーマット(AIS/MSDSplus対応)

eBASEjr

eBASE
server

eBASE
server

eBASEjr

eBASEjr

eBASE
server

eBASEjr

eBASE
server

3次仕入先

業界団体フォーマット(AIS/MSDSplus対応)

eBASEjr

eBASEjr

eBASEjr

eBASEjr

eBASEjr

eBASEjr

eBASEjr

eBASEjr

eBASEjr

英語版

英語版

中国語版

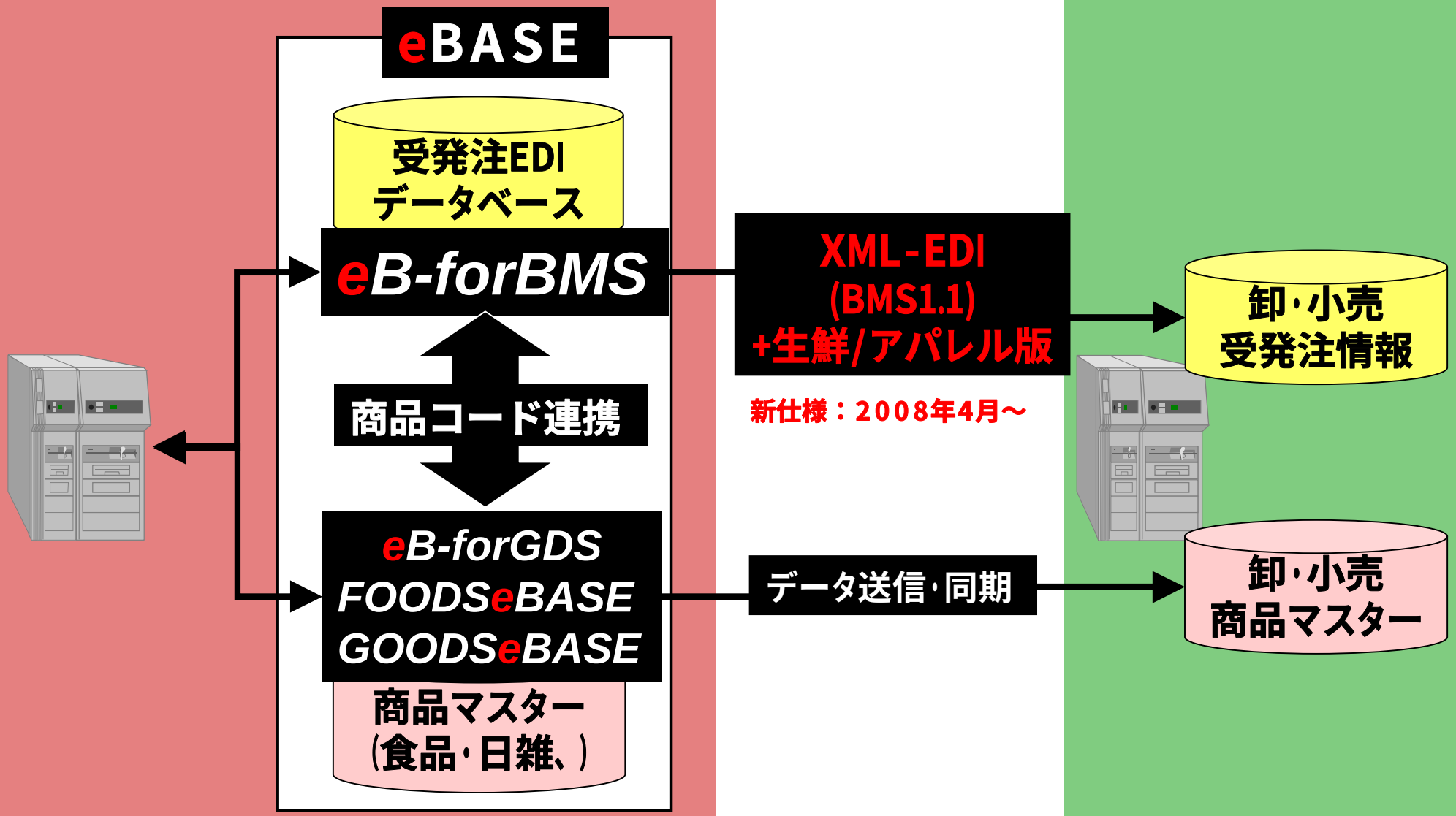
中国語版

新たなるeBASEビジネスのスタート

商品マスター管理から受発注管理まで一括・一元管理

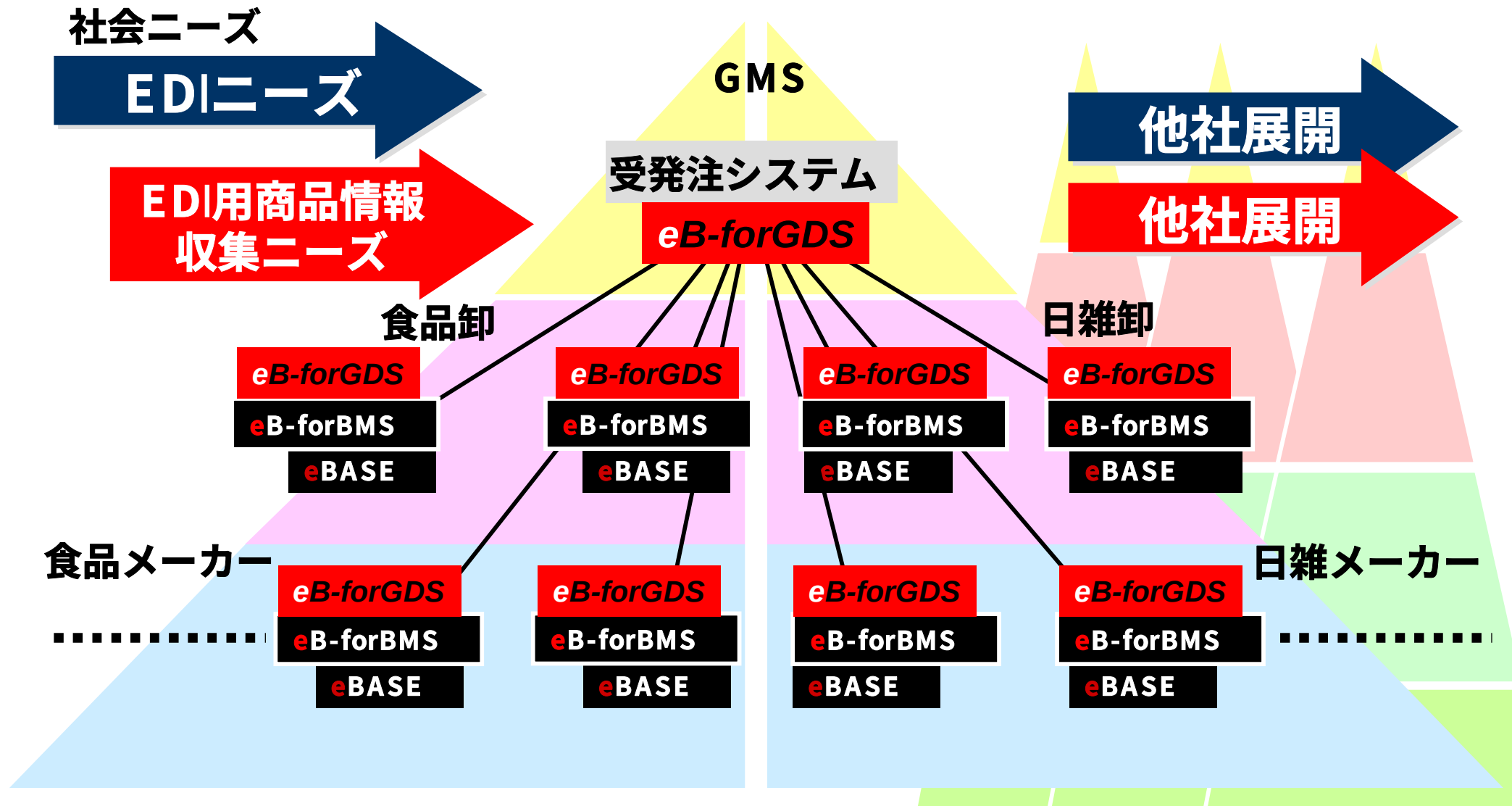
取引先

卸・小売



eBASEビジネス全体最適化の新たな展開

eBASEコミュニケーションプラットホームの展開
次世代EDIのプラットホームとして利用



現ビジネスモデルの海外展開

中国語版eBASEで中国展開、そして英語版で米国展開

FOODMEETING.CCCFNA.ORG.CN

日中食品安全フォーラム

～食の安全情報管理セミナー～ 2009年 2月 24日(火) 27日(金)

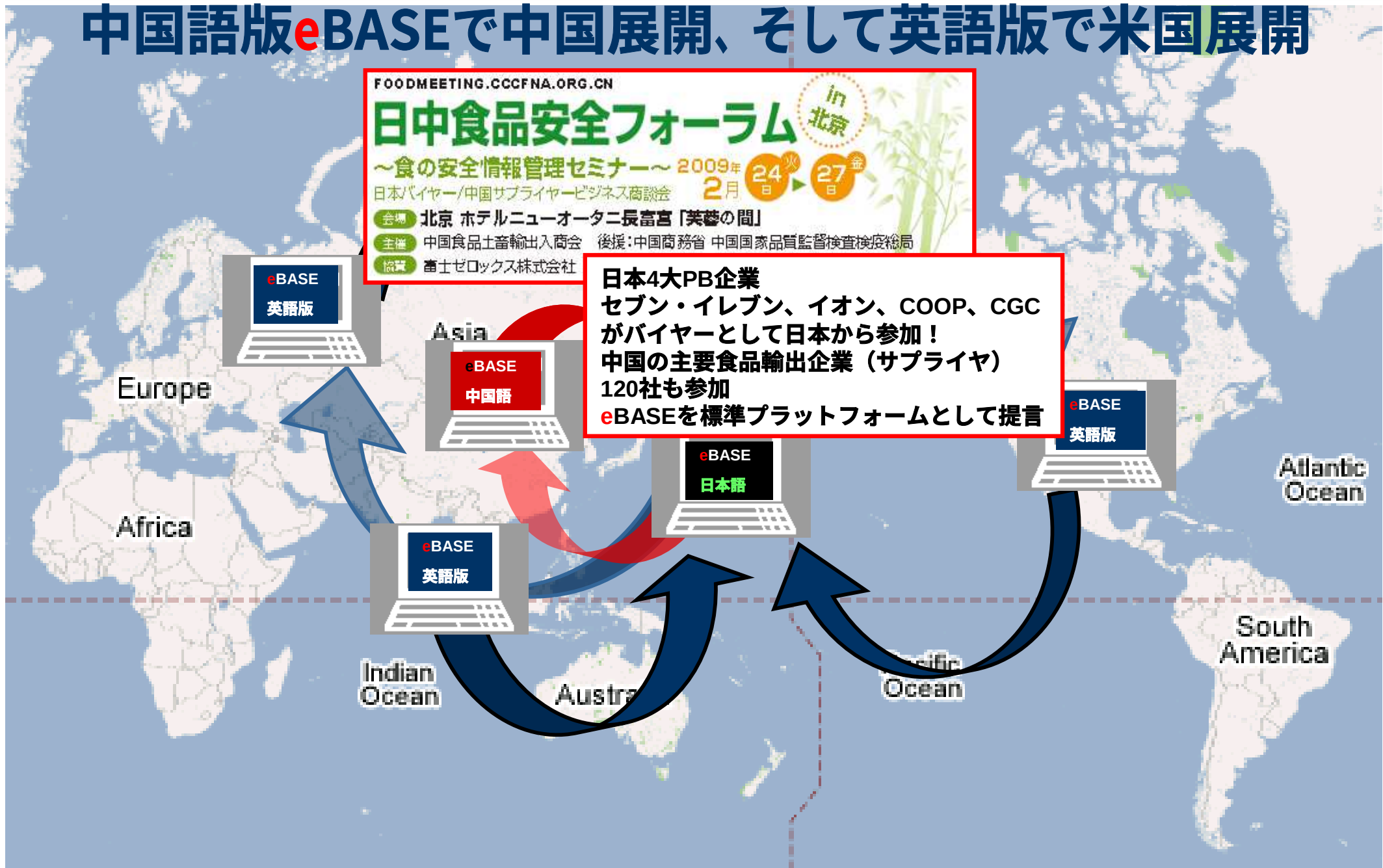
日本バイヤー/中国サプライヤービジネス商談会

会場 北京 ホテルニューオータニ長富宮「芙蓉の間」

主催 中国食品土畜輸出入商会 後援: 中国商務省 中国国家品質監督検査検疫総局

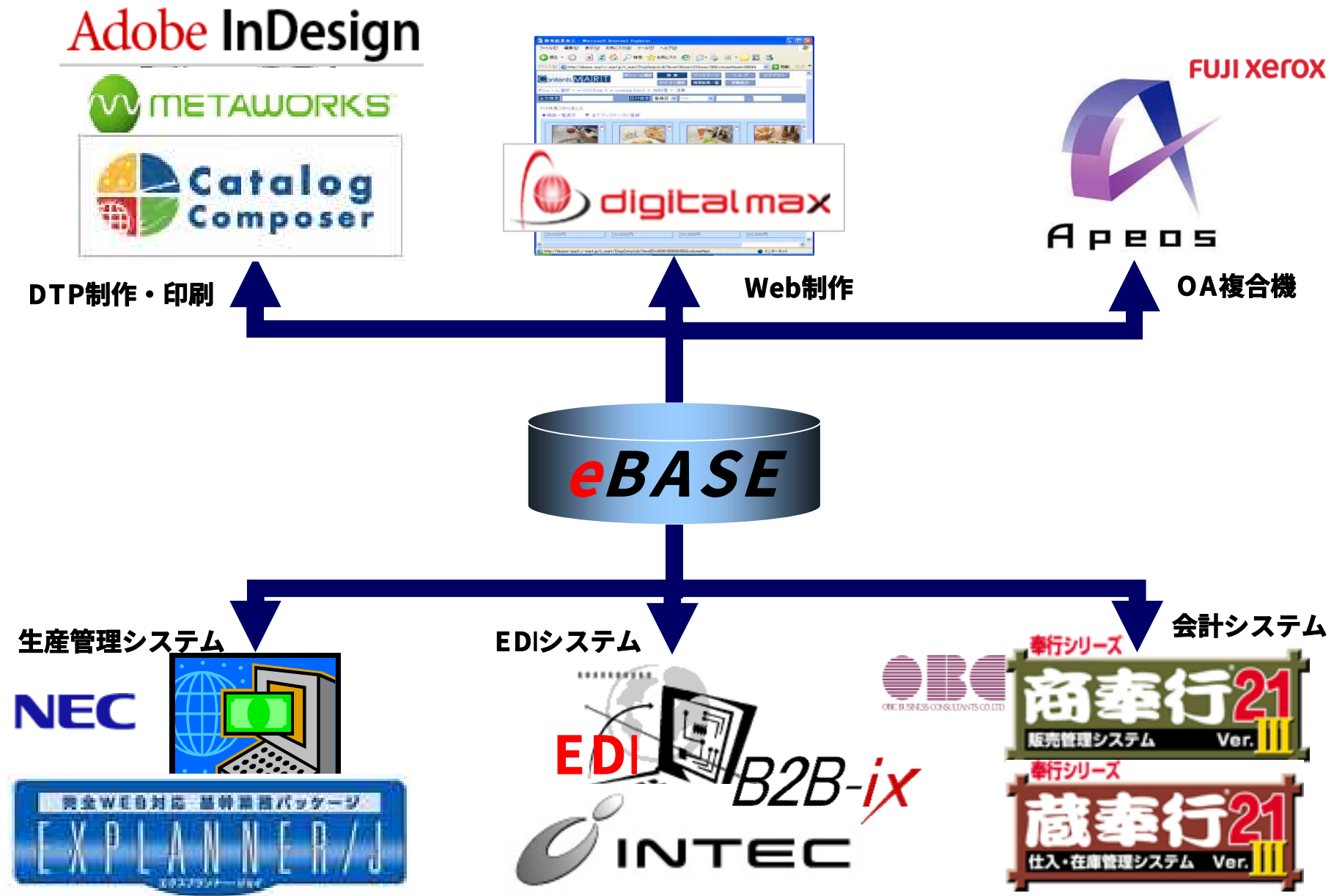
協賛 富士ゼロックス株式会社

日本4大PB企業
セブン・イレブン、イオン、COOP、CGC
がバイヤーとして日本から参加！
中国の主要食品輸出企業（サプライヤ）
120社も参加
eBASEを標準プラットフォームとして提言



eBASEと他社ソリューション連携

ソリューション連携により、協業パートナーシップ強化



売上20億円、経常利益10億円を目指した中期戦略マップ



用語説明

- **ASP : Application Service Provider**
ビジネス用のアプリケーションソフトをインターネットを通じて顧客にレンタルする事業者のこと。
- **CRM : Customer Relationship Management**〔顧客関係管理〕
情報システムを応用して企業が顧客と長期的な関係を築く手法のこと。
- **EC : Electronic Commerce**〔電子商取引〕
インターネットなどのネットワークを利用して、契約や決済などを行なう取引形態。
- **EDI : Electronic Data Interchange**〔電子データ交換〕
取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組。
- **POP : Point Of Purchase**〔購買時点〕
商品情報のポイントと商品価値等の必要情報を顧客にダイレクトにPR(広告)するもの。
- **SCM : Supply Chain Management**〔供給連鎖管理〕
取引先との間の受発注、資材の調達から在庫管理、製品の配送まで総合管理するコスト低減手法。
- **XML : eXtensible Markup Language**〔拡張マークアップ言語〕
文書やデータの意味や構造を記述するためのマークアップ言語

本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ
管理部 06-6486-3955
management@ebase.co.jp